

愛媛県四国中央警察署協議会会議録  
(令和5年度第1回)

日時	令和5年6月20日（火曜日） 午後2時30分～午後4時55分
出席者	<p>1 愛媛県公安委員会 委員1人</p> <p>2 警察署協議会 会長以下8人</p> <p>3 警察署 署長以下12人</p>
議事概要	<p>1 公安委員挨拶 警察署協議会の在り方について</p> <p>2 会長挨拶 (1) 各種警察活動に対する激励 (2) 活発な意見交換の依頼</p> <p>3 署長挨拶 (1) 各種警察活動への協力に対する謝辞 (2) 忌憚のない意見交換の依頼</p> <p>4 業務推進結果等の説明 令和5年2月から5月までの業務推進結果、同年6月から9月までの業務推進計画について、各課長が報告、説明した。</p> <p>5 質疑応答 (1) 委員 聴衆が多数集まる場所等において、積極的な街頭活動を展開しているとのことであったが、例えば集会所で住民が集う機会に、警察官による防犯講話等の要望をすれば、対応は可能か。 回答 地域課長 要望があれば日程調整の上、可能な範囲で対応したい。</p> <p>(2) 委員 前回の警察署協議会で委員から意見のあった「川之江にぎわい広場」における小学生の深夜徘徊に係るパトロール要望について、すぐに付近のパトロールを実施してもらい、また、現在も継続していただいております、感謝しています。</p>

これから夏休みを迎え、若者による深夜徘徊の増加が懸念されるので、引き続き、付近のパトロールをお願いしたい。

回答 地域課長

今後もパトロールを継続実施し、住民の不安解消を図っていく。

- (3) 委員 四国中央警察署管内の登山道の整備状況を教えてください。

回答 地域課長

市によって維持管理されているものと承知しているが、天候の影響が大きく、特に悪天や慣れない山、初心者による登山では十分な備えと細心の注意が必要と考えている。

当署としては、今後も山岳警備救助隊員による定期的な山岳パトロール等を通じ、天候等に起因する登山道の損壊箇所の早期発見に努めるとともに、登山客に対して、立入規制及び注意喚起を行うなど、警察として必要な措置を執っていきたい。

- (4) 委員 四国中央警察署が保有する自動通話録音機(振り込め詐欺撃退装置)の住民への貸出状況について説明があったが、住民に対する同装置の周知方法等について伺いたい。

回答 生活安全課長

当署で保有している自動通話録音機は15台である。数に限りがあるため、特殊詐欺に係る被害相談で警察署を訪問した住民や、自動通話録音機を設置する必要性が認められる独居の高齢者を中心に、警察署から装置の活用を推奨している。

このほか、地域課の警察官が各家庭を訪問した際に、自動通話録音機を紹介しており、住民から要望に応じて貸し出しを検討することとしている。

- (5) 委員 自転車盗対策「えひめの愛錠<sup>あいじょう</sup>ロック作戦」(警察官が無施錠自転車の所有者から同意を得てワイヤーロックを施す取組)に関し、本年4月以降の四国中央警察署管内における無施錠自転車に対するワイヤーロックの施錠件数、ワイヤーロックの価格

及び在庫数について伺いたい。

回答 生活安全課長

当署では、本年4月の各学校の入学時期に合わせて、JR伊予三島駅周辺で愛錠ロックを実施している。

ワイヤーロックは、警察本部から配分があったものを活用しており、価格の詳細は把握していないが、在庫数については現時点で約10本である（後日、1本当たりの価格を回答した）。

- (6) 委員 住民による110番通報の際、スマートフォン等を使用して、事件や事故現場の映像等を送信する新システム「110番映像通報システム」が本年5月に開始されたものと承知しているが、四国中央警察署管内における同システムの利用実績及び警察官に対する研修状況について伺いたい。

回答 地域課長

映像通報システムは、110番通報を受理する警察本部通信指令課が担当しており、署別の統計は公表していないのでご理解いただきたい。

警察官に対する研修について、当署は各種訓練や教養の機会に、適宜実施している。

## 6 諮問及び答申

諮問	答申
交通事故総数を減少させるための取組について	<p>○ 見通しの悪い交差点は事故が発生しやすい傾向にあると思われるため、管内の交通事故分析に基づく効果的な広報啓発・安全教育を推進してはどうか。</p> <p>○ 自転車は、住民の身近な交通手段として、幅広い年齢層が利用しているが、特に最近、高校生らしき学生がイヤホン等を耳に装着して走行しているのをよく見かける。若年層の自転車マナー向上のため、自転車の安全</p>

		<p>利用に関する広報活動をより一層推進していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交差点において、徐行、一時停止、目視による左右の安全確認を実施せずに進入する車両がいるため、交通法令の基本を徹底する広報活動を推進していただきたい。</li> <li>○ 自転車の二人乗りをしている外国人をよく見かけるので、例えば、技能実習生の多い事業所等で、外国人や雇用主向けの交通安全講話等を推進してはどうか。</li> <li>○ 自転車乗車時の正しい手信号について、交通安全教育を推進してはどうか。</li> <li>○ 自動車の自動運転について、その技術により交通事故件数の減少につながるのであれば、住民に対し、自動車を買替える際には自動運転モデルの車両購入を推奨してはどうか。</li> <li>○ 横断歩行者保護について、例えば、運転者側から立体的に見える横断歩道を設置して、運転者の視覚に訴える取組を推進してはどうか。</li> </ul> <p>7 公安委員講評</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 活発な意見交換への評価</li> <li>(2) 各種警察活動への謝辞</li> </ul> <p>8 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 公安委員による各委員に対する委嘱状の交付</li> <li>(2) 各委員互選による四国中央警察署協議会会長及び会長代理の選出</li> <li>(3) 若手警察官による特殊詐欺被害寸劇の実演</li> </ul>
--	--	---



協議会開催状況